



全国環境連

令和4年度 第18回

全国環境連全国大会

浄化槽によるローカルSDGs(地域循環共生圏)の実現



電車・新幹線でお越しの方
長野駅「善光寺口」より徒歩3分
長野駅ビル直結

お車でお越しの方
上信越自動車道「長野IC」より8.5km
上信越自動車道「須坂長野東IC」より9.0km



大会参加のお申し込み・お問い合わせ

長野県環境整備事業協同組合

〒385-0022 長野県佐久市岩村田1271-7

TEL 0267-88-6566

FAX 0267-88-6567



国宝松本城(松本市)

令和4年度
第18回

全国環境連 全国大会



全国環境連



写真提供:善光寺(長野市)

浄化槽によるローカルSDGs (地域循環共生圏)の実現

2022 10.14 [Fri]

ホテルメトロポリタン 長野

長野市南石堂町1346番地 TEL 026-291-7000

主催
全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
担当
全国環境連 関東中部ブロック協議会
(長野県環境整備事業協同組合)

NAGANO 2022

浄化槽によるローカルSDGs (地域循環共生圏) の実現

目的

我々一般廃棄物処理業者は、市町村の自治事務の代行者として、廃棄物処理事業が開始されたときから今日まで、適正な廃棄物処理を通じて、わが国の良質な水環境の確保及び公衆衛生の向上に寄与してきたところである。

しかし、その傍ら下水道の整備が進む中、業界を取り巻く厳しい経営環境は、年々その度合いを強めている。そのため「合特法」の趣旨を踏まえた業務の転換・補償の獲得が、今や緊急の課題となっていることはいうまでもない。

我々はこの難局を乗り切るために、積極的に英知を結集し自らの力で業界の経営基盤の安定を図っていくことが必要である。そして、今後も絶え間ない技術革新で、業界の未来は開かれていくという信念のもとに、創造性を備えた先進的なリサイクル等の技術開発に努めていくことが強く求められている。その上で、企業の社会的責任(CSR)の視点から業界全体での思い切った意識改革に取り組み、新たな価値観の追及に取り組まなければならない。

現在、人口減少・高齢化社会を迎えた社会において、世界的な感染症の流行、異常気象による豪雨、巨大台風、地震などの自然災害の発生が国内を問わず世界各地で発生し、経済や財政に大きな打撃を与えている。自然災害は、環境問題と密接に関係しており、水環境への負荷をいかに低減又は防止し、人類の共有財産である水を守るかが問われている。

我々は、水処理専門業者として、関連するSDGs目標を実現し、高度な公衆衛生の獲得と浄化槽を通じた地域循環共生圏の実現、さらにその技術を世界に示していくため一丸となって取り組んでいかなければならない。

本大会は「浄化槽によるローカルSDGs (地域循環共生圏) の実現」をテーマに、全国の一般廃棄物処理業者が一堂に会し、地方創生が叫ばれる今日、国・地方及び関係団体、関係業界が協働して、浄化槽のさらなる普及により、持続可能な循環型社会を現実にするため、我々の強い決意をここに表明するものである。

※関連する目標のうち、一部を抜粋



SDGs目標6 安全な水とトイレを世界中に

2030年までに、汚染の減少、有害な化学物質や物質の投棄削減と最小限の排出、未処理の下水の割合半減、およびリサイクルと安全な再利用を世界全体で大幅に増加させることにより、水質を改善する。

1 大会式典 13時30分～14時30分 / 3階「浅間」

- ①物故者に対する黙祷
- ②開会の辞
- ③大会式辞
- ④優良役員・従業員表彰
- ⑤受賞者代表謝辞
- ⑥政府に対する要望決議発表
- ⑦大会スローガン発表
- ⑧大会宣言発表
- ⑨来賓祝辞
- ⑩祝電披露
- ⑪閉会の辞



2 講演 14時45分～17時00分 / 2階「千曲」

講演Ⅰ
演題 「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向について」
講師 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長 筒井 誠二氏

講演Ⅱ
演題 「持続性のある生活排水処理施設整備に向けて」
講師 公益財団法人 日本環境整備教育センター 顧問 国安 克彦氏



3 懇親会 17時20分～19時20分 / 3階「浅間」

- ①開会の辞
- ②主催者挨拶
- ③来賓祝辞
- ④来賓紹介
- ⑤乾杯
- ⑥次回開催担当県挨拶
- ⑦閉会の辞



主催 全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会 (略称：全国環境連)
後援 環境省 / 長野県 / 長野市 / 長野県市長会 / 長野県町村会
協賛 公益財団法人 日本環境整備教育センター
一般社団法人 全国浄化槽団体連合会
全国浄化槽推進市町村協議会
公益社団法人 長野県浄化槽協会
長野県浄化槽推進協議会
参加予定者 全国環境連 会員等 約500名

長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ



3 すべての人に健康と福祉を

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基礎をつくらう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさも守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう